

第3回「宇宙（天文）を学べる大学」 合同進学説明会」 関東版

野 澤 恵

〈茨城大学理学部 〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1〉

e-mail: snozawa@mx.ibaraki.ac.jp

第3回「宇宙（天文）を学べる大学」合同進学説明会」関東版が2012年11月18日（日）に国立天文台三鷹キャンパスで開催された。今回は発表およびポスターには約15機関を超える参加があった。しかし、高校生などの参加者は、記帳した人数で10名程度のため、成功とは言えなかった。そこで報告として反省点を時系列で追っていきたい。

1. はじめに

昨年度の関東版の説明会は、大学としては約20機関を超える参加があり、高校生などは、記帳した人数で100名程度、アンケートの回収が40枚程度と、非常な盛況であった。そのため、今年度はその成功に酔い、準備も気楽に考えてしまい、広報も遅れてしまった。

2. 昨年度との比較

昨年度の説明会のまともにも「広報については十分ではなく」¹⁾と報告したが、今回は輪をかけて準備が遅かった。下の表にまとめる。

項目	2011年度	2012年度
参加機関の募集	9月下旬	10月上旬
広報の開始	10月下旬	11月上旬

と1, 2週間の遅れがあった。理想的には項目の1カ月以上前に動く必要がある。今回はWeb上での広報が遅れに遅れ、開催の約10日前だったために、アンケートでもネット経由から情報を得たという回答はなかった。また、関東圏の都県の教育委員会の高校関係の部署に、FAXを送信したのは、1週間前と非常に遅かった。それでも、学

第3回「宇宙(天文)を学べる大学」合同進学説明会」



図1 関東版のチラシ、ポスター。

校経由での参加者が多かったのが印象的である。マスコミには、前日の朝日新聞の関東のローカル枠で紹介された。

また昨年度に行った天文系や受験関係の雑誌及びWebへの広報は時間がなくできなかった。また、今回は天文台の手伝いの院生が確保できず、



図2 ポスター会場の様子 その1.



図3 大学紹介の風景.

ポスターボードの設置などを当日行う必要があった。そこで、手伝いの学生をアルバイトで雇うかなど、直前にMLで議論を行うというドタバタもあった。結局は有志で募ることになったが、次回以降は手立てを考える必要がある。

3. 当日の動き

タイムスケジュールは図1関東版チラシ、ポスターのようである。

参加した大学は最終的にアイウエオ順に、会津大学コンピュータ理工学部、青山学院大学理工学部、茨城大学理学部、桜美林大学リベラルアーツ学群、国際基督教大学教養学部物質科学デパートメント、埼玉大学教育学部、理学部、総研大(宇宙科学研究所、国立天文台)、上越教育大学学校教育学部、千葉大学理学部、筑波大学理工学群物理学類、東京大学理学系研究科、明星大学理工学部、立教大学理学部、早稲田大学教育学部の15大学などであった(図1)。

3.1 大学紹介、ポスター講演

ポスター会場は講演会場ではなく、ロビーや廊下を使用した。ポスターボードを壁の前に置き掲示した。掲示は20弱であった(図2)。またパンフレットも取りやすいように1カ所に置いた。

ポスター発表時間は60分と40分の2回に分けた。今回も昼食を用意するようお願いしたため、早めに食事を行ったようだ。しかし、2回目

のポスター発表と次の講演会に時間が空いてしまったため、ここで帰ってしまう人が多かった。

司会は、各大学の紹介を国際基督教大学の石丸氏に、そして講演会を富阪氏に願った。皆さん時間を守ってくださり、予定していた時間程度で終わることができた(図3)。

3.2 講演会

今回は天文講演会は一人的みとし、濤崎智佳氏(上越教育大学)が「ガスのち星、時々チリ」で話された。しかし、2回目のポスターセッションの間にほとんどの高校生が帰ってしまい、内輪だけのものになってしまった。

4. 課 題

まずは、連絡が遅く、また説明会の進行にも至らない多々あり、参加者、各大学の関係者の皆様にご迷惑をかけたことをお詫びしなければならない。とにかく、今回は前回の成功に酔ってしまったため、広報の遅れという致命的な失敗をしてしまい、参加者の激減という状態に陥ってしまった。

最後に、次回を実施するならば、全く一からの練り直しが必要である。実行委員会を輪番制にするなどの方策を取る必要があるだろう。

参考文献

- 1) 野澤 恵ほか, 2012, 天文月報 105, 281